

東京地方税理士会相模原支部は、今年7月に創立50周年を迎えました。同支部は、昭和49年7月20日に東京地方税理士会神奈川支部相模原部会として「信頼される税理士」のために「税理士会」の理念を掲げ、52名で発足しています。相模原地域の発展に伴い、同支部は個人会員数・法人会員数が合計300を超える、東京地方税理士会（神奈川県・山梨県）の中でも有数の支部に発展しています。社会のデジタル化などが進む中で、時代の変化や要請に応えながら、創立時の精神を受け継ぎ「信頼と貢献」をテーマに掲げ、積極的に活動しています。今回は、大きな節目を迎えた同支部の嘉戸英二支部長にインタビューしました。

「地域社会への貢献として、どのような活動をされていますか。」

「確定申告の時期に年金申告などの小規模納税者に対して税務支援事として無料申告相談を実施しています。さらに、支部の事務局内に相模原商工会議所の協力を得て、税務相談所を開設し、相模原市内の事業所の方々から各種の税務相談を受けています。」

「そのほか、商工会議所をはじめ、相模原市役所、青色申告会、法人会、相模原市農協などからご依頼を受け、税理士を派遣しています。派遣事業ではさまざまなご依頼があり、当支部の税理士が講師を務めたり、相談会を開いたりしているところがあります。また、主に市内小学校を中心に租税教室を開催し、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解してもらい、納税者として社会や国の在り方を主体的に考える一助となるよう講師派遣を行っています。」

「相模原支部の特徴的な取り組みについて教えてください。」

「相模原市民の方を対象にした相続税セミナー&個別相談会を開催しています。2015年に相続税の大改正が行われ、基礎控除が6割に引き下げられたことに伴い、市民の方々から相談したいという声が多くありました。そこで社会貢

## 「信頼と貢献」をモットーに 税の専門家として地域貢献

東京地方税理士会  
相模原支部 支部長 嘉戸 英二さん

献として、当支部が独自に相続税セミナーを開催し、現在も引き続き行っています。特に今年には50周年の記念事業として成年後見制度についてもご相談をお受けしました。私どもは、税に関する唯一の専門家という自負を持って活動しています。相続税に関する個別の申告やご相談は、相模原支部の税理士にお声掛けください。」

「ICT(情報通信技術)やAI(人

工智能)などが発達していく中で、税理士の役割の変化についてどう考えていますか。」

「ICTやAIなどがますます発達していく中で、いわゆる記帳代行業務を税理士がやらなくてもよい時代が来るのかも知れません。だからといって、テクノロジーが税務に関する課題をすべて解決



初めの良き相談相手として、税務会計や決算申告などに限らず、企業や納税者に寄り添っていく立場というのは今後も変わらないと考えています。」

「今後についてはどう展望しますか。」

「当支部は『信頼と貢献』という言葉を、重要なキーワードとして挙げています。私どもは、税に関する唯一の専門家であるという自負を持ち、信頼される立場を維持し担保するには、その裏付けとしてたゆまない自己研鑽が必要です。フオリティーの高い税の専門家として知識、経験を積み上げていかななくてはなりません。それが、税理士という職業専門家の一丁目一番地だと考えています。市民の皆様から信頼を得たうえで、支部創立50周年を迎えた今、さらに地域社会へ貢献をしていきたいと考えています。」